

せきおか 学校農園新聞

1・2年生が大垣昌蔵先生に教えていただきながら一生懸命取り組んでいる学校農園の様子がぎゅつと詰まった新聞です!!



じゃがいもの種芋を植えました。1年生は小学校へ入学して初めての畑作業です。種芋を植えるときには、種芋を半分に切って【あく】をつけます。病気を予防したり腐らないようにするためだそうです。



【枝豆】収穫をしました。たくさん収穫できたので、ひとり2束くらいずつおうちに持ち帰りました。学校でも少しゆでてみんなでいただくことができました。

【じゃがいも】土の上に見えている葉や茎をとると、土の中には大きいじゃがいもや小さいじゃがいもがたくさんありました。くわで土を軟らかくしましたが、そのあとは土を手で掘らないとなかなかじゃがいもにはたどり着くことができません!!



苗うえが続きます!! 苗うえの下準備として、穴掘り用のスコップを使って畑のうねに穴を掘ります。

【枝豆】は、2本の指で苗の下の方をはさみ、カップをひっくり返して苗を取り出します。苗や根っこを傷つけないようにていねいに植えます。

【きゅうり】は『かぼちゃの苗』と『きゅうりの苗』で接ぎ木されています。そのため、接ぎ木の部分が折れてしまうとおいしいきゅうりがなくなってしまうことがあります。

【さつまいも】苗を植える前に、土を耕し、マルチで覆い、雑草が生えるのを防ぎます。また、苗を寝かせて植えた方が実が多く実りやすいそうです。



【はくさい】苗を植えました。白菜の苗は1本ずつ土に植えてその上からやさしく土をかぶせます。

【大根】ひとつの穴に2粒ずつ巻きました。「おいしい大根になってね〜!」と声をかける1年生の姿がほほえましかったです。

【とうもろこし】収穫したトウモロコシはしばらく干して、ポップコーンにして食べる予定です。収穫した後は、トウモロコシ畑の茎や葉を片づけます。根っこが強くてみんなの力を合わせてもなかなか抜けませんでした。

【たまねぎ】昨年の11月に植えた玉ねぎを収穫しました。収穫した玉ねぎは、10月に行われる収穫祭や、11月に行う直売体験までベランダで干して乾燥させます。ベランダに干しやすいように2玉くらいずつ束にして、余分なところはカットします。





収穫祭で販売する野菜の収穫です。
【さつまいも】こんなに太くて大きなさつまいもが土を掘れば掘るほど出てきます！！さつまいもを掘るときのポイントは、お芋の姿が見えたら、さつまいもをもってグラグラさせたりせずに、まわりの土を少しずつけていき、真っ直ぐ上に引き抜くこと。途中でグラグラさせたりすると、土の中でお芋が割れたり、折れたりしてしまいます。



土の中にはこんなに大きなお芋がたくさん！！
 今年は大豊作で、お芋がたくさんとれました！



【直売体験準備】白菜、大根、玉ねぎ、じゃがいも、さつまいも、里芋の収穫と袋詰め、ラベル貼り作業を行いました。
【はくさい】白菜を自分が進んでいく方向に倒し、おしりの部分を包丁で切り、収穫します。そのあとは、余分な葉を落とし、テープで括ります。

【大根】収穫した後は、傷がつかないようにていねいに重ね、1本ずつ水洗いをします。桶に水をためて、軍手をつけて水洗いをするととっても早く洗うことができます。でも…水が冷たいっ！！

【玉ねぎ】茎と根を取り除き、500グラムずつ袋詰めをします。玉ねぎをどう組み合わせれば500グラムになるのか…はかりの針ととにらめっこしながら1年生が大活躍です！！

【じゃがいも】【さつまいも】【里いも】10月に収穫したじゃがいも、さつまいも、里いもは日の当たらないところで保管をしていました。決められた重さずつラベルを貼った袋に詰め、コンテナへ並べます。



【直売体験】太郎の四季さんの一画をお借りして、学校農園でとれた野菜の直売をさせていただきました。町内へIP電話を使ってお知らせしていたこともあり、たくさんの保護者・町民のみなさんが買いに来て下さいました。



【里いも】里いもは茎と葉を切り、先生と大垣さんがくわを使い『てこの原理』で里いもを土から掘りおこします。さあ、ここからが1・2年生の力の見せ所！！里いもがたくさんついた株を、土の上にたたきつけるようにして、里いもを1つずつにばらします。



【大根】土から立派な大根が顔を出しています！大垣先生からも「立派な大根ができた！」とお褒めの言葉をいただきました！！



学校農園での野菜作りを通して、私たちの食卓にたくさんの料理が並ぶまでには、多くの人たちの『ころ』と『手』が込められていることを子どもたちは感じる事ができたことと思います。